

製品名: DDIT3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81333**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	19.2kDa

抗原情報

遺伝子名	DDIT3
別名	CHOP; CEBPZ; CHOP10; CHOP-10; GADD153
遺伝子 ID	1649.0
SwissProt ID	P35638
免疫原	大腸菌で発現したヒト DDIT3 (AA: 87-192) の精製された組み換え断片。

背景

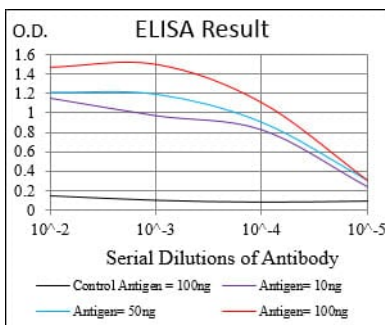
この遺伝子は、CCAAT/エンハンサー結合タンパク質 (C/EBP) 転写因子ファミリーのメンバーをコードする。このタンパク質は、C/EBP や LAP (肝活性化タンパク質) などの他の C/EBP メンバーとヘテロ二量体を形成し、それらの DNA 結合活性を阻害する

ことで、ドミナントネガティブ阻害因子として機能する。このタンパク質は脂肪形成および赤血球生成に関与し、小胞体ストレスによって活性化され、アポトーシスを促進する。この遺伝子と 16 番染色体の FUS または 22 番染色体の EWSR1 との転座誘導融合は、粘性性脂肪肉腫またはユーイング肉腫においてキメラタンパク質を生成する。異なる長さの 2 つのアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。

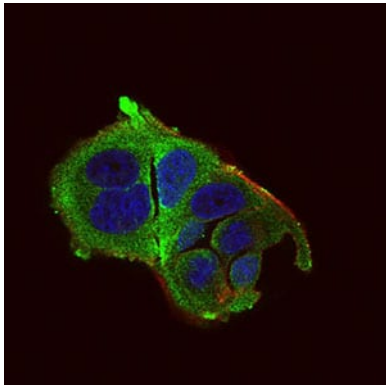
研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

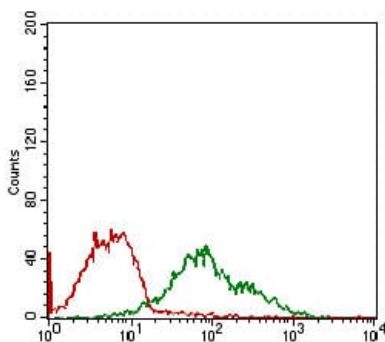
画像データ



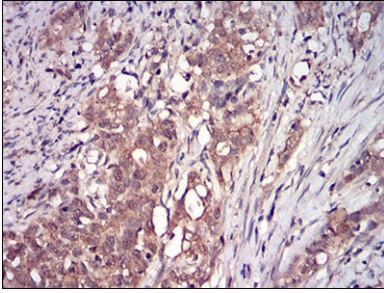
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



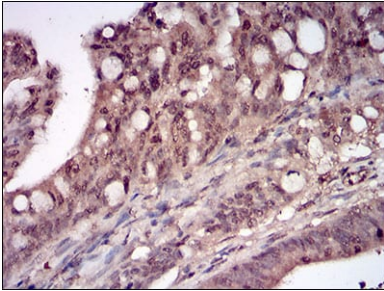
DDIT3 マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DDIT3 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



DDIT3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DDIT3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。